

～第7回 2009年度スタート の巻～

日 時：2009年7月16日（木） 18：30～20：30

場 所：北上市生涯学習センター 第1学習室

1. 開 会

2. 挨拶（北上市クリーン推進課）

19年から昨年度まで市民会議として、市民・企業・行政それぞれの役割から、どのようにごみ処理を行っていくか等について会議を行ってきました。

今年度からは、さらに皆さんの意見をいただきながらごみ処理の方向付けをし、また、北上市ごみ処理基本計画への提言をしていただきたいと思います。皆さんの意見を反映させたごみ処理基本計画にしていきたいと考えています。

3. 協 議

(1) 役員選出

・会長選任

参加者の事務局一任の声により、昨年度に引き続き、照井民太郎氏が会長に選出されました。



・会長挨拶（照井 民太郎 会長）

昨年、皆さんにご検討いただいた内容が、北上市ごみ処理基本計画へ活かされるのであろうと思います。昨年度の終わりごろ、2カ所のごみ処理施設を見学してきました。あれをどう活かすか、また、常設のごみステーションにたくさん出される資源ごみの問題についてなど、皆さんのご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。

(2) 今年度の進め方について

今年度は、計画検討部会と生ごみ処理部会に分かれ、北上市ごみ処理基本計画への提言、市民会議としてのアクションの実践を目的とし、資料「今年度のスケジュール」に沿って会議を進めていくことになりました。

4. 昨年度の実施内容について

昨年度のごみ減量市民会議における議論の内容、経過に関して、ごみ減量市民会議委員の小瀬川泰志さんから発表がありました。また、昨年実施されたごみ処理施設の視察、ごみ〇に向けた市民からの提言についての説明がありました。

5. 北上市のごみの現状とごみ処理基本計画に関する勉強会

北上市クリーン推進課より、現在の北上市のごみ処理の状況と基本計画についての説明が行われました。

〇北上のごみ処理の現状について

- ・北上市ごみ総排出量
資源ごみの排出量は年々増加しており、不燃ごみは減少してきている。
- ・家庭系ごみ排出量
平成18年度以降、燃えないごみの排出量はほとんど変化していないが、燃えるごみの排出量は減少している。
- ・家庭ごみ一人1日排出量
平成18年度以降減少している。平成20年度の家庭ごみ一人1日排出量は、約560gであった。
- ・事業系ごみ排出量
家庭ごみ同様、平成20年度は燃えるごみの排出量が減少した。

・資源ごみの推移

平成20年度の資源ごみ排出量は、約6,400t/年であった。

・資源ごみ種別収集量

プラスチックは年々増加、瓶類・缶類は年々減少している。

・集団資源回収量・集団資源回収団体数

年々、回収量が減ってきているのは、少子化の影響もあり、子供会などの団体数が減ってきていることも要因として挙げられる。

・生ごみのコンポスト化

コンポスター、バケツ、電動、ゼロくんなどを設置し、生ごみがコンポスト化されている。

・家庭ごみ手数料化実施後の状況

燃えるごみ、燃えないごみの収集量は平成20年11月には家庭ごみ手数料化前のかきこみで増えた。手数料化実施後は、いずれも前年より収集量が減っている。資源ごみの収集量は、前年とほぼ変わらない。

・まとめ

家庭ごみ手数料化に伴い、不法投棄の増加が懸念されていたが、不法投棄パトロールなどを行うことで抑制しています。これからは、テレビの地デジ化に伴い、テレビの不法投棄が増えるのではと心配されます。

○ごみ処理基本計画策定基本方針について

・ごみ処理基本計画策定の趣旨

市では平成17年3月に計画期間を平成26年度までとする「北上市ごみ処理基本計画」を策定し、循環型社会の形成を目指し、家庭ごみ手数料化の実施などごみの減量と資源化に取り組んできました。その結果、家庭系ごみ及び事業系ごみとも減量となっていますが、リバウンド防止や事業系のさらなる減量対策が求められています。

国では、貴重資源の湯高活用や環境負荷の低減を図るとともに、製造者、排出者の責任を明確にするため、循環型社会形成推進基本法等の制定を行い、3Rの推進など継続的な循環型社会の構築を目指しています。

これら廃棄物を取り巻く状況を踏まえ、現基本計画を見直し、今後の廃棄物行政のあり方と具体的な施策について明らかにするため改定

を行うものです。

(法第6条に策定が義務付けられており、目標を10年先におき5年ごとに改定)

・ごみ処理基本計画の策定手順と構成

ごみ処理基本計画の策定に当たっては、基本方針を定め、地域特性、ごみ処理の現状、収集・運搬、中間処理、最終処分などの把握を行い、課題とごみの発生抑制やリサイクルの推進など対応策について明確にし、ごみ処理全般の計画を策定します。

また、国から示されている「ごみ処理基本計画策定指針」及び「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針」を基に策定します。



・計画期間

平成23年度から32年度までの10年間とします。本来であれば22年度から31年度までの計画期間ですが、平成20年12月から家庭ごみ手数料化を実施したことにより、年間を通したごみ量や経費などが数値的に把握できないための確な将来推計ができにくいこと、上位計画である総合計画と環境基本計画の改定時期に合わせるため、改定時期を1年遅らせるものです。

なお、ごみ処理を取り巻く客観情勢等の変化に応じ、中間目標年次(平成27年度)に見直しを行うとともに、他の年度においても、計画目標達成のため、施策や進行状況をチェックし、必要に応じて目標値や施策スケジュールの見直し、新たな施策の企画・立案などをおこなうこととします。

・基本方針

「きたかみ型循環社会」を構築するため、市民、事業者、行政のそれぞれが協働し3Rの推進を中心とした取組みを進めます。

・基本方針の基軸

- ①市民、事業者、行政がそれぞれ資源循環の役割と責任を果たしていきます。
- ②「きたかみ型循環社会システム」を築いていきます。
- ③3Rの推進に努め、総合的なごみ管理を行っていきます。
- ④環境に配慮し、効率的なリサイクルと安全・安心なごみ処理を進めます。

・数値目標

基本方針に基づき、ごみの発生抑制、資源化の拡充など、本計画の平成32年度までに達成すべき数値目標を定め、達成に向け施策展開を図るとともに、市民及び事業者目標達成のための協力を求めています。

本計画の数値目標は、現計画の目標値を達成している項目やかけ離れた数値の項目があることから見直しを行い、元基本計画、岩手中部広域の基本計画等を考慮しながら精査算出します。

○質疑応答・ご意見

- ・ごみ処理基本計画策定スケジュールにおいて、8月から「生活環境課アンケート調査」とあるが、アンケートの内容はどのようなものですか。また、市民何名ぐらいを対象に行うのですか。
→アンケートの具体的な内容や規模は現段階では確定しておりません。
- ・個別収集については、基本方針で盛り込まれるのですか。
→ごみの収集体制については、説明会などにおいて、地域の皆さまに説明しております。基本方針のなかには収集体制も盛り込まれます。
- ・昨年のごみ減量市民会議とメンバーがだいたい同じようですが、それでは今年も同じような意見になると思います。もっといろいろな人に参

加していただき、様々な意見を出し合ってほしいと思います。

→新しいメンバーや若い世代の方にも参加していただきたく、広報などで呼びかけているのですが、なかなか難しい現状です。

・北上市ごみ処理基本計画策定基本方針において、ごみ減量市民会議の役割や位置付けを明確にした方が良いのでは。

→北上市ごみ処理基本計画策定基本方針を具体的に作成する段階において、明記いたします。

・行政からごみ0に向けた市民からの提案で、「子どものころからゴミの認識強化を」とあるが、将来に向けて、例えば、学校で子供達にごみの分別を行わせる体験などが大切になってくると思います。ぜひ、ごみ処理基本計画にはいろいろなソースから内容を盛り込んでほしいと思います。

・昨年度の議論の内容を踏まえて、各関係団体と協力しながら、ごみを減らすための具体的な実施をする方が良いと思います。

6. 閉会

＜ふりかえりカードより＞

- ・これからが楽しみです！
- ・よく勉強して8月も来るようにしたいと思います。
- ・ゴミ出しのマナーは、市民の意識が高いと思います。個人でできる事をもっと責任を持って行えるように皆で考えましょう。
- ・もっと一般の人たちの参加があるのかと思って参加しました。
- ・あくまでも諮問会議という感じで真剣さが薄い
- ・市の基本構想計画では4Rを目指しているのですが、3Rより一歩すすめてごみ0に近づけるべきと思いました。ごみ減量市民会議が話し合いだけで終わらない様に広く市民にPRできる場（消費生活展など）があれば良いのではないのでしょうか… 次回、先進地事例などお聞きして、「やりたいこと・やるべきこと」を見つけていく方向が良いのでは… 学校関係からも参加していただきたいです。

今年度のスケジュール

<目的>

○ごみ処理基本計画における提言

- ・基本方針の検討
- ・重点項目・目標値の設定
- ・市民・地域・企業・行政の役割分担

○市民会議としてのアクションの実践

- ・生ごみ処理に関して、たい肥のリサイクルモデルの検討など、昨年度の課題の解決に向けた社会実験の実施

月	全体	計画検討部会 (会議での議論内容イメージ)	生ごみ検討部会 (会議での議論内容イメージ)
7月	市民会議第1回開催 ごみ処理基本計画勉強	部会の選択	
8月	第2回会議の開催 (部会に分かれて進行)	昨年度の議論・報告書から 課題の整理	実施計画の策定 (スケジュール・対象・予算 など)
9月	第3回会議の開催 (各部会の検討報告・意見交 換)	現在の課題の解決方法の 検討と、目標とする将来像 の確認	今年度の具体的なアクショ ンの実践
10月	第4回会議の開催 ごみ処理基本計画にむけた 意見交換を全体でも実施	基本方針と重点項目・目標 値の設定	アクションの課題・進捗状況 の確認 次年度に向けた取り組みの 検討
11月	第5回会議 市民会議に向けた提言・報告内容の確認		
12月	市民会議の開催		今年度の成果発表 昨年度の課題整理